

事務連絡
令和3年8月20日

各府省庁担当課室 各位

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長

昨今の感染状況及び最新のエビデンスを踏まえた
業種別ガイドライン改訂並びに遵守・徹底等について（依頼）

平素から新型コロナウイルス感染症対策の推進に御協力いただき感謝申し上げます。

昨今の感染状況を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策の効果的な推進のため、関係各府省庁においては、下記の事項に留意し、業種別ガイドラインを改訂するとともに、遵守徹底に向けた取組強化を図ってください。

記

1 業種別ガイドライン改訂の実施

本日、西村国務大臣から閣僚懇談会において、関係閣僚に対し、職場や学校だけでなく、これまで確認されていなかった場面でのクラスター発生が確認されていること（参考参照）から、感染力の強いデルタ株※を前提に、専門家の意見を踏まえた業種別ガイドラインの見直しを早急に御検討いただき、関係業界に対する、業種別ガイドラインの改訂、進化の要請をお願いしたところです。

※変異株について

新型コロナウイルスの懸念される変異株（VOC）

PANGO系統 (WHOラベル)	最初の 検出	主な 変異	感染性 (従来株比)	重篤度 (従来株比)	再感染やワクチン 効果（従来株比）
B.1.1.7系統の変異株 (アルファ株)	2020年9月 英国	N501Y	1.32倍と推定※ (5～7割程度 高い可能性)	1.4倍(40-64歳 1.66倍)と推定※ (入院・死亡リスクが高い 可能性)	効果に影響がある 証拠なし

B.1.351 系統の変異株 (ベータ株)	2020年5月 南アフリカ	N501Y E484K	5割程度高い 可能性	入院時死亡リスク が高い可能性	効果を弱める 可能性
P.1系統の変異株 (ガンマ株)	2020年11月 ブラジル	N501Y E484K	1.4-2.2倍高い 可能性	入院リスクが高い 可能性	効果を弱める可能性 従来株感染者の再感染 事例の報告あり
B.1.617.2系統 の変異株 (デルタ株)	2020年10月 インド	L452R	高い可能性 (アルファ株の1.5倍 高い可能性)	入院リスクが高い 可能性	ワクチンと抗体医薬の 効果を弱める可能性

※感染性・重症度は、国立感染症研究所等による日本国内症例の疫学的分析結果に基づいたもの。ただし、重症度について、本結果のみから変異株の重症度について結論づけることは困難。
※PANGO系統(PANGO Lineage)は、新型コロナウイルスに関して用いられる国際的な系統分類命名法であり、変異株の呼称として広く用いられている。括弧内の変異株名は、WHOレベルである。

(出典)国立感染症研究所、WHO

厚生労働省第48回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード(令和3年8月18日)資料抜粋

関係各府省庁においては、これまでも、手指消毒、マスク着用、換気の徹底、人員管理・制限、入場整理等の基本的な感染防止対策について、業種別ガイドラインの徹底・強化をお願いしてきたところですが、昨今の感染状況及び新たなエビデンスを踏まえ、業種別ガイドラインの強化が必要となる事項の改訂が必要ですので、速やかに各業界等に依頼してください。なお、改訂した業種別ガイドラインは内閣官房HPで公表しますので、改訂にあたっては、業種別ガイドラインの策定及び改訂に当たって指導・助言いただいた感染症の専門家の指導・助言等を踏まえるとともに、関係各府省庁で内容を十分に精査した上で、内閣官房に共有してください。

また、以下に職場における検査の更なる活用・徹底についてガイドラインへの記載例を示しますので、当該例を踏まえ対策を検討し、各業種別ガイドラインの改訂の際に必ず記載をするようにお願いします。

【記載例】

● 職場における検査の更なる活用・徹底

- ・ 普段から、健康観察アプリなどを活用し、毎日の健康状態を把握すること。
- ・ 体調が悪い場合には出勤せず、自宅療養する社内ルールを徹底すること。
- ・ 出勤後に少しでも体調が悪い従業員が見出された場合や従業員が発熱など軽度の体調不良を訴えた場合、その従業員に対し、抗原簡易キットを活用して検査を実施すること。
- ・ 抗原簡易キットでの検査結果が陽性であった場合、保健所ので了承を得た上で、「接触者」に対してPCR検査等を速やかに実施すること。

- ・抗原簡易キットの購入にあたっては、
 - ① 連携医療機関を定めること
 - ② 検体採取に関する注意点等を理解した職員の管理下での自己検体採取をすること
 - ③ 国が承認した抗原簡易キットを用いること
 が必要。
- ・これら具体的な手順、キットの購入申込先リスト等については、下記URL参照のこと。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000798697.pdf>

(令和3年6月25日事務連絡「職場における積極的な検査等の実施手順(第2版)について」)

<https://www.mhlw.go.jp/content/000819118.pdf>

(令和3年8月13日事務連絡「職場における積極的な検査の促進について」)

- ・また、寮などで集団生活を行っている場合や、従業員同士の距離が近いなど密になりやすい環境(労働集約的環境)、一般的な感染防止措置を行うことが困難な場合など、クラスター発生の危険性が高い職場環境では、定期的なPCR検査の活用も有用であるので、導入を積極的に検討すること。

各業種別ガイドラインにおける主な改訂のポイントとなる項目等(箇条書きで結構です)を整理したものを9月3日(金)までに内閣官房へ回答し、9月17日(金)までに改訂案を内閣官房に送付ください。

2 関係各府省庁における適切な助言等の実施

また、上記依頼に加え、関係各府省庁においては、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止策に向けた取組を継続していただくため、以下の点に留意し、業種別ガイドラインの遵守徹底に向けた適切な助言等をお願いします。

- 令和2年11月12日付け事務連絡のとおり、引き続き、関係団体が傘下会員等に対して、業種別ガイドラインの周知・徹底を図るよう促すとともに、必要に応じて、関係各府省庁又は関係団体から業種別ガイドラインの遵守状況に係る具体的な確認項目リスト等を配布等することにより、業態に応じた感染防止策の理解を促進し、ガイドラインの遵守徹底に努めること。
- とりわけ、基本的対処方針三(3)10)に基づき、クラスター等が発生している分野等(飲食・職場など)については、その見直し・強化を徹底し、感染拡大防止を図ること。

- これまでの分科会提言や飛沫飛散シミュレーション等による新たなエビデンスを基にした見直しが必要と考えられるので、ガイドラインの更なる改善に向けた助言等を実施し、不足事項等があれば速やかな改訂を促すこと。
- 業種別ガイドラインを適切に運用する観点で、内閣官房HPに公表されている業種別ガイドラインに限らず、関係団体が公表しているガイドラインが適切に見直されるように、又は、適切な更新・指導が難しい場合には類似の適切に改訂された業種別ガイドラインの遵守を促すなど、関係各府省庁において、業界に対し、適切な助言・指導等を行うこと。

3 クラスタ発生時の適切な対応の実施

関係各府省庁においては、令和2年11月12日付け事務連絡のとおり、業種ごとのクラスタの発生状況に応じて、関係団体、感染症等の専門家、内閣官房等と連携しながら、デルタ株による感染拡大の影響やクラスタの状況を把握・分析するとともに、

- 業種別ガイドラインの未遵守が原因と考えられる場合はその遵守を働きかけること
- 業種別ガイドライン上の対策が不記載又は不明確と考えられる場合は当該対策を業種別ガイドラインにおいて明確化すること

等により、再発防止に努めるようお願いいたします。また、再発防止策をとりまとめた場合には、内閣官房との情報共有をお願いいたします。

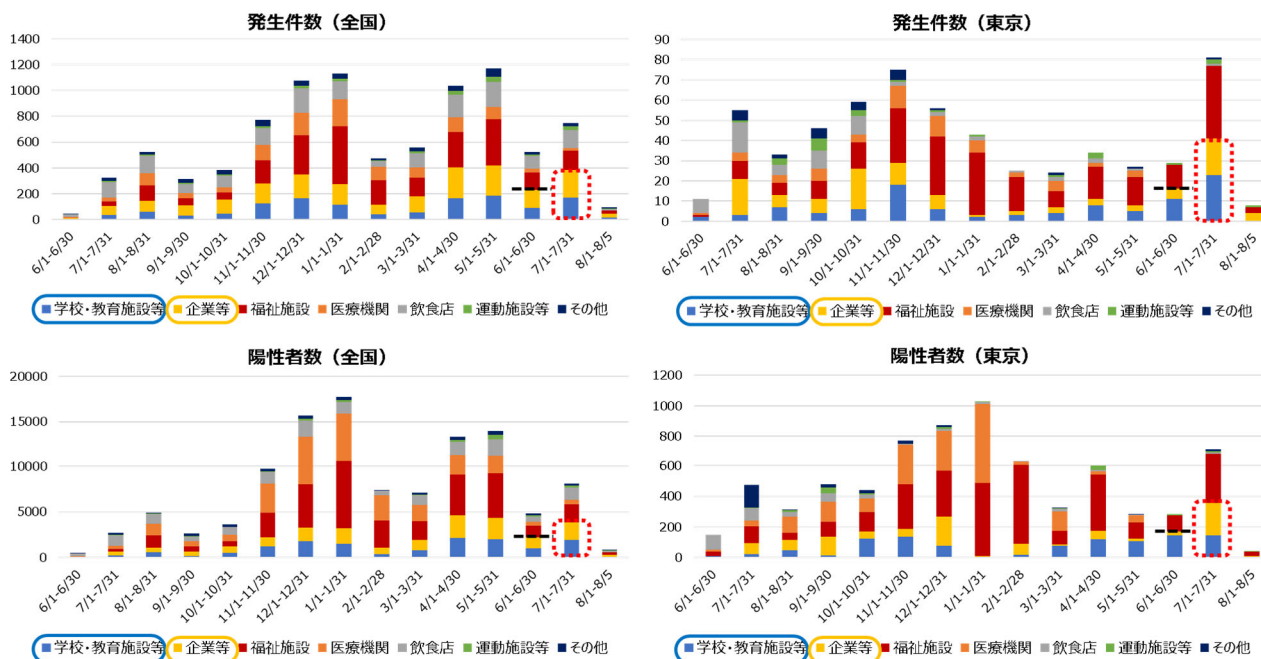
特に、大規模イベントについては、令和2年10月27日付け事務連絡に基づき、クラスタ対策・分析のための組織体制の構築をお願いしており、引き続き、関係各府省庁においては、関係部局・関係自治体、関係団体との役割分担に留意し、組織的な対応・情報連携をお願いいたします。

4 PDCAサイクル構築に向けた体制構築等の検討

関係各府省庁においては、感染防止策を徹底するためには、業種別ガイドラインの遵守状況の継続的なフォローアップが不可欠です。関係各府省庁においては、令和2年11月12日付け事務連絡のとおり、関係団体と連携しながら、PDCAサイクルを構築するための適切な体制構築等を図ってください。

以上

(参考) クラスター事例



最近のクラスター等感染拡大の状況①

1 帰省に伴うクラスター

- 県内外からの帰省者含む親族10名以上が集まり7名が陽性。
- 東京からの帰省者含む親族が集まり5名が陽性。
- 県外からの帰省者含む同級生が集まり7名が陽性。

2 大人数の会食におけるクラスター

- 社会人サークルの会食で7名が陽性。
- 同じ職場の会食で20名以上が陽性。
- 複数の家族が集まった会食で10名以上が陽性。

3 寮におけるクラスター

- 全寮制の研修期間中に懇親会を行い、40名以上が陽性。
参加者は懇親会後に帰省し、帰省先の複数都道府県で陽性が判明。

最近のクラスター等感染拡大の状況②

4 スポーツ施設におけるクラスター

- インストラクター、受付、生徒等20名弱が陽性。
プール主体の施設。近距離での接触がありマスク着用も不徹底であった。
- インストラクター、生徒等約10名が陽性。
複合スポーツ施設で発生。初発のインストラクターは発症後も勤務していた。
消毒・換気は徹底されていたが、更衣室やシャワー室等での接触あり。

5 全国大会におけるクラスター

- 全国大会（アイスホッケー）で100名以上が陽性。

6 百貨店におけるクラスター

- 百貨店10店舗以上で300名以上が感染。

7 駅におけるクラスター

- 駅の窓口職員10名以上が陽性。

最近のクラスター等感染拡大の状況③

8 職場におけるクラスター

- 職場の車に同乗していた作業現場職員10名以上が陽性。作業現場まで車で移動しており、車内ではマスクを外していた。

9 理容・美容店におけるクラスター

- 一時的にマスクを外す機会があり、従業員から利用者に感染が拡大。

10 学習塾におけるクラスター

- 症状のあった講師を初発とし生徒70名以上が陽性。
ビニールシート等の設置等を行われていたが、窓がなく換気が不十分であった。
- 1クラス約20名中15名が陽性。
他のクラスにも拡大し、計50名以上が陽性。
座席を1席ずつあけて座り、マスク着用は徹底していたが
窓をあけての換気は徹底しておらず、手指消毒も徹底されていなかった。
- 30名以上が陽性。マスク着用の徹底、ビニールシートの設置等を行われていたが、講師と生徒の間の距離が近く、換気も不十分であった。

11 自動車学校の合宿におけるクラスター

- 自動車学校の合宿で10名以上が陽性。陽性者の多くは県外からの利用者で、寮形式で合宿を実施。

12 体験販売会におけるクラスター

- 県外からの販売員を初発とし、参加者を含め25名以上が陽性。
参加者の席の間隔が近く、大声での説明。

13 遊戯施設（パチンコ店、麻雀店、ゲームセンター等）におけるクラスター

- 従業員7名が陽性。休憩室でのマスクの着用が不徹底。
- 従業員及び利用客の9名が陽性。
飲食や喫煙時のマスクの着用が不徹底。

14 その他

- 高校、大学等のクラブ活動で多数のクラスター発生。

※デルタ株の感染が拡大した直近（主に8月）において発生した主なクラスター事例のうち、報道された情報等を基に内閣官房が整理したもの